

【報告】第15回弊社主催オンラインセミナー
『“シューズのメガネ理論”とは？
～5月19日「日経BP」に掲載された特集を深掘りします～』



7月10日(土)、第15回弊社主催オンラインセミナーは、5月19日付『日経BP』にて特集された「シューズのメガネ理論」についてのトピックを基に、弊社代表取締役社長荒山自らがその内容を深掘りするという企画で開催致しました。「足から始まる健康を」。現在の事業を展開するにあたり、55歳で医療系大学院の修士課程に入学、沢山の働く女性たちの足の3Dデータ解析を行ったのを皮切りに研究を続け、フルカスタムインソール開発のアイデアへと繋がりました。

夢を育てる
DGP
News Letter

令和3年7月【第40号】

【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西 1-3-19
南海日本橋ビル1F
TEL: 06-4708-4877
FAX: 06-4708-4879

DreamGP
株式会社ドリーム・ジーピー

「シューズのメガネ理論」

「日経BP」
特集は、左記QRコードからお読み頂けます。

自分の足にフィットしない靴を履いているひとのいかに多いことか、靴作りのベースとなる木型そのものの課題点等々。様々な気付きの中で「ベースとなるシューズにフルカスタムインソールを」というアイデアが浮かびました。そして、それらのアイデアの蓄積を昨今のメガネ購入のシステムになぞらえたのが、「シューズのメガネ理論」です。店頭でメガネを購入する際、①検眼↓②フレーム選び↓③レンズ選び・加工↓④フィッティング(最終調整)というプロセスを経るのが通常ですが、「シューズのメガネ理論」においては、①検足計測と現状分析) ↓②シューズ選び ↓③インソール選び・加工 ↓④フィッティング(最終調整) というプロセスを辿ります。バブル崩壊以降長らく続いたデフレスパイラル、既に多くの「モノ」が飽和状態にあり「売れない時代」、2019年末から間断なく続くコロナ禍にあってなお、小売業界が生き残る秘策とは「100歳まで「ピンピン」歩ける社会」の実現を目指して。

5/10(月)プレオープン
6/29(火)本格オープン!!
「足と靴下の店 ごえん」

「足と靴下の店 ごえん」の情報は、LINE・Instagram・Facebookでもご覧頂けます。※詳細は、まずは下記QRコードから!

●JR信越線「加茂駅」から徒歩約20分(約2.5km)
●北陸自動車道 三条燕ICから車で約40分(約16km)

6/29、山忠のファクトリーショップ「足と靴下の店 ごえん」がオープンしました。地元とともに歩みながら、ここ加茂の地で靴下を作り続けて60余年。「地域の方たちの歩行寿命・健康寿命の伸長」に貢献したいの想いがカタチになりました。新潟県加茂市の本社向かいの靴下工場に併設し、工場で編み上げた「産まれ立て」の靴下たちが並べられ、お客様の足のお悩みに合わせた健康靴下のご提案やフットスキャンによる足底圧計測に基づいたアドバイスをしています。おかげさまで、弊社イチ押し商品の〈ケアソックス〉も大変ご好評頂いています。日々、ご来店下さったお客様の笑顔をお見送りできることが、私たちの喜びです。

株式会社 山忠

●住所/新潟県加茂市下条甲 435-1 (ショップは株式会社山忠 靴下工場 敷地内)
●営業時間/9~18時(日祝定休)
●電話/0256-53-0265

「ごえん」はこちらから

5/10(月)プレオープン
6/29(火)本格オープン!!
「足と靴下の店 ごえん」



店内「縁側」に埋め込み設置された【FOOTSCAN】

6月29日(火)、株式会社山忠(本社:新潟県加茂市、代表取締役社長:中林道治氏)が、5月10日(月)のプレオープンに続き、ファクトリーショップ「足と靴下の店ごえん」を本格オープンしました。本社の向かい側にある靴下工場の一角に構えた店舗は、大きな軒下に桐材の縁台と小さな庭を設え、どこか懐かしい「縁側」のような空間で、お客

様にほっこり寛いで頂けるようにとのコンセプトイメージから名付けられました。店内には、桐材で敷き詰められた床の小上がりにも、同市の伝統産業である桐箆等のアンティーク棚や同市の景色が写された大きなパネルが掛けられるなど、同市のルーツを盛り込んだ空間に身を置きながら、ゆったりと来店者自身が足から始まる健康に思いを馳せるひとときを演出しています。

同社会長中林功一氏自らが研究・開発された「ケアソック」シリーズはじめ、様々なコンセプトで企画された沢山の靴下たちのラインナップから、足の専門校スクールオブペディ認定の「足のコンシエールジュ」たちがお客様にフィットする一品を提案してくれます。

また、店内の「縁側」には、足底圧測定機「FOOTSCAN」が埋め込み設置され、来店者一人ひとりの足の状態からアドバイスを受けることも可能です。購入した靴下を履いて是非市内散策を!

なお、9月11日(土)には弊社主催オンラインセミナー2回目のご登壇を予定しています。(※1面に関連広告あり)

【報告】第15回弊社主催オンラインセミナー『“シューズのメガネ理論”とは?』参加者様のご意見・ご感想 (※一部抜粋、原文ママ)

●補助金が採択されてデジタル化を進めて行く中で、商売のやり方など不安も感じていました。荒山社長のお話の勢いから、私の進む方向は間違っていないのかなと思えました。また、補助金のやり方も含めてご指導頂けた為にデジタル化が進みました。(N様)

●シューズの眼鏡理論、私も以前本で読み、日頃の接客で取り入れさせていただいています。(S様)

ポルトガル産天然コルクを贅沢に使用
健康と環境に配慮したコンフォートサンダル

誕生!! **QORTISA**
コルティーサ

誕生!!

■素足より気持ちいい!! ■裸足より歩きやすい!! ■もって、Sustainable!

3つのラインナップ
※各デザイン各3色、5サイズ(S,M,L,LL,3L)からお選び頂けます。

Taylor Kross Sammy

本商品のコルクはリサイクルが可能ですので、長く大切に履いて頂いた後は回収も承っております。

① 匠継ぎ技術でコルク本来の特性を活かし、

② 日本人の足に合った形状を追求。

③ ポルトガルの職人により製作

④ 清潔な作り方で、もっと歩きやすく!

取扱い: マイフットステーション各店 (銀座・なんば・泉大津) にて

マイフットステーション 検索

電話: 03-5159-5075 / なんば: 06-6586-6077 / 泉大津: 072-592-9227

DreamGP

【不定期掲載】その11 著者: 荒山元秀、島村雅徳、森永浩介
出版社: ライティング
発売日: 2017年12月1日

『中小企業の3D進化論』

■経験と技術だけで、安心してはいけません! (※前回からの続き)

さらに、義肢や装具をつけて生活している人たちの身体は、歳月とともに変化します。子どもから大人になれば、サイズが大きくなったり、身体能力の向上などによって求められる機能が変わります。高齢者になれば、逆に筋力や体力が衰えていきます。それまで使用していた義肢や装具を使い続けることが難しくなるため、やはり本人の状態に合わせた調整が必要になります。

このような「一人ひとりに合うモノづくり」は、マニュアルがあっても容易にできることではありません。経験に裏打ちされた知識と技術が必要であり、そうした積み重ねのもとに義肢や装具を作ってきたのが、日本の義肢装具士です。細やかな心遣いと、微細な修正にこだわる高度な技術は、世界的にみても最高水準であるといえます。

話を戻しましょう。
「優秀な義肢装具士の条件」に、豊富な経験と優れた技術は必要です。
経験と技術を活かし、患者さんが喜んで使ってくれる義肢や装具を作っていれば、医師からの信頼が高まり、受注が安定するでしょう。
これまでは、この考え方で問題なく仕事ができていると思います。
しかし、これからは違います。
もしあなたが学校で習ったとおり、採寸や採型をまだ手作業のみでやっているのなら、いますぐ「製作のデジタル化」を検討しなければいけません。

(次号に続く)